

ぴかいち

人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」

一枚の瓦に想いを込めて

つのだ よしひさ
瓦職人 角田 祥久 さん
(松山地域)



大崎市松山地域は、伊達家重臣茂庭家の城下町であったことから、昔ながらの瓦を使用した建物も多く、街並みに当時の面影を残しています。少し前までは、古くから営む瓦屋が5、6軒ありましたが、時代の流れとともに瓦を使用する建物が減り、現在は1軒だけとなってしまいました。

明治38年の創業から百年余り続く瓦屋の5代目、角田祥久さんは、小学生の頃から休みの日となれば、父親が運転するトラックに揺られ建築現場に向かい、手伝いをしたそうです。生まれた時から瓦に囲まれて育ち、瓦に愛着を感じ、ゆくゆくは家業を継ぐことを心に強く決めていました。

高校卒業後、自らが経営者にならなければと、経理の学校に進学し「建設業経理士2級」の資格を取得しました。その後、父親の下で瓦職人としての腕を磨き「かわらぶき技能士1級」に合格、平成24年1月に独立をしました。

なければ千年は持つこと話す角田さん。瓦の良さと技術を次の世代に伝える活動にも一生懸命です。

今年3月、福島県郡山市で開催された「技能グランプリ2014福島大会」に、宮城県代表として出場しました。惜しくも入賞は逃しましたが、全国の舞台上で堂々と職人の技を披露してきました。

8月には、仙台市の夢メッセみやぎで開催された「ものづくりフェスティンみやぎ」に出展し、親子で瓦の加工や施工を体験してもらうなど、若年層への普及と後継者の育成に努めてきました。

35歳になった今、角田さんは「後継者が育たなければ、瓦の技術は廃れてしまいかも知れない。せめて今ある瓦を修復し、後世に残したい。今後は『屋根の医者』として技術を生かしていきたい」と語ります。

地域の光、伝統技術を受け継いだ角田さんは、この宝を次世代に引き継ぐことを強く胸に誓い、一枚の瓦に想いを込めて、これからも邁進し続けます。



現在、瓦の加工には電動器具が用いられますが、1級技能士は、「たがね」と「瓦ハンマー」を自在に操り、意のままに、瓦を加工する技術を身につけています。



宮城県瓦工業組合の後押しもあり、宮城県として、初めて技能グランプリに出場。全国の瓦職人と競い合うことで、自分の技術を見つめ直す機会となりました。



ものづくりフェスタでは、子どもたちが瓦を切る道具「押し切」や親子で瓦の施工を体験。宮城県瓦葺き技能士会では、瓦の技術を次世代につなぐ活動をしています。



技能グランプリで審査員の好評を得た、瓦を合わせるための自作の定規「くせがね」。瓦職人は、仕事はかどるよう「治具」と呼ばれる道具を自ら作り出します。

秋のお彼岸 広告

供花、お線香、お墓参りのご準備承ります。
お気軽に会館、店舗までご用命ください。

ハートホール溪雲 ハートホール田尻
お仏壇のきたかわ HEART FLOWER
株式会社 北川
0120-342423

ハートホール 検索 <http://www.hearthall.com> 事前相談承ります(無料)

あらゆる建設関連職種従事者の国民健康保険 広告

1人親方・個人事業所(5人未満)

- 健康保険料本人額 15,300円 ●介護保険料 1人 2,000円
- 6人以上免除(但し、20歳～64歳の男性を除きます)
- 特定健診無料 / 傷病手当金他手厚い給付

※1人親方労災保険取り扱いしております。

まずはお電話を下さい!
0229-23-7390

大崎建設職組合
宮城県建設業国民健康保険組合

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

アパマンショップ 古川駅前店

住宅建物取引業:宮城県知事免許(12)1000号(社)宮城県宅地建物取引業協会会員(社)全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟
<http://www.yoitochi.com> 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

株式会社 古川土地 TEL.0229-23-8484
FURUKAWA-TOCHI 0120-2-8484-2(携帯・PHSも5か5通話可)

創業 昭和47年
不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。